

議会だより

アサギ

令和3年8月

No. 114

題字は、厚沢部町認定こども園 なかむら 中村 ゆり 優夢さんです。



7月31日～親子体験フェスタ



STOP!! ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あっさぶメイクイン」を守ろう!～



重点道の駅商業施設建設工事実施設計等委託料など

1億1202万2千円を補正
総額44億9271万5千円

令和3年第2回定例会が6月16日から17日の2日間開かれ、補正予算等18件を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ1億1202万2千円を追加し、総額44億9271万5千円となりました。増額された主なものは次のとおりです。

- 子育て世帯生活支援特別給付金 (200万円)
- 鶏ふれあいセンター長寿命化工事費 (756万8千円)

質疑応答(要旨のみ)

● 畑作構造転換事業費補助金 (2016万8千円)

● 林業・木材産業構造改革事業費補助金 (1026万円)

● 重点道の駅商業施設建設工事実施設計等委託料 (3305万4千円)

問 大学アウトキャンパスタデイの実施予定は。

高田議員

答 新型コロナウイルスの影響で奈良教育大学については、中止の申し出があり、中部学院大学及び愛知学院大学は感染の状況により判断します。

問 子育て世帯生活支援特別給付金の内容は。

山田議員

答 新型コロナウイルスの影響で低所得の子育て世代に支給するもので、ひとり親世帯分の給付金受給者を除く非課税世帯、家計の収入が減少した世帯を対象に、国の基準によって支給されます。

問 重点道の駅新商業施設の最終的な基本設計の概要を議員へ知らせた上で、実施設計の採決をすべきではないか。

香川議員

答 基本設計は本年3月いつ

各会計補正予算額一覧表

会計名		区分	補正額	補正後の額
一般会計			1億1202万2千円	44億9271万5千円
介護保険事業特別会計	保険事業勘定		121万円	6億9713万5千円
国民健康保険病院事業特別会計	資本金的収入及び支出		369万1千円	563万6千円

ばいで完成し、その基本設計を基に先日、農水省から工事に対する認可をもらいました。内容としては、既存のさわやかトイレを解体後、その場所に約210坪の商業施設を建設する予定です。
(定例会を一時中断し、全員協議会で基本設計の概要を説明後、翌日、採決されました。)

問 鶉ふれあいセンター長寿命化工事の内容は。上戸議員

答 鶉ふれあいセンターは、建築から19年経過しており、屋根のステンレス防水が劣化しているため断熱シート防水へ改修します。

介護保険会計

保険事業勘定について介護保険システム改修委託料など121万円を増額し、総額6億9713万5千円となりました。

国保病院会計

資本金的収入及び支出についてベッドサイドモニター等購入費369万1千円を増額し、予定額563万6千円となりました。

質疑応答(要旨のみ)

問 ベッドサイドモニター等購入費の内容は。高田議員

答 病床で患者の心拍、脈拍、血圧、体温、心電図、血

中酸素等を、測定・記録して異常があった場合にアラーム音で警告するベッドサイドモニターを3台、患者を寝せたまま傾斜をつけて楽な姿勢でシャワーを使えるシャワーストレッチャーを1台、指先や耳たぶで脈拍・血中酸素を測るパルスオキシメーターを3台購入するものです。

条例

●厚沢部町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定

マイナンバーカード再交付手数料の徴収が「町」から「地方公共団体情報システム機構」へ変更になったことにより改正されました。

●厚沢部町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定

マイナンバーの情報を連携する情報提供ネットワークシステムの管理がデジタル庁に移管されたことに伴い、所管が「総務大臣」から「内閣総理大臣」に変更となったことにより改正されました。

●厚沢部町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定

地方税法に基づく固定資産の価格に関する不服審査の手続等について、納税者の負担軽減のため、審査書面への押印及び署名が不要となり改正されました。

●厚沢部町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

それぞれ厚生労働省が定める「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の改正により、関係する条例が改正されました。

●厚沢部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正に伴い条例の一部が改正されました。

表

彰

鈴木議長が 自治功労表彰

北海道町村議会議長会から鈴木議長が町議会議員及び議長として長年にわたり地域の振興に貢献した功績により表彰され、6月定例会の冒頭に伝達されました。



専決処分

●町有地の処分
緑町分譲地1区画を売却したことを報告しました。

●厚沢部町税条例等の一部を改正する条例
地方税法及び同法施行令の一部改正に伴い条例を一部改正したことを報告しました。

報告

●厚沢部町一般会計繰越明許費の繰越

規則

●厚沢部町議会会議規則の一部を改正する規則の制定

議員活動と家庭生活との両立支援や男女の議員が活動しやすい環境の整備、出産に係る母性の保護等を目的として規則の一部が改正されました。

議員派遣

●道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会現地研修会

目的 他町議会との情報交

Map showing land division status in Green Town. It includes a grid of lots with numbers and names of management offices.

1	済	済	済	公営住宅【4棟8戸】
済	済	済	済	
樽山森林管理署 職員住宅		樽山森林管理署 職員住宅		15
樽山森林管理署				済
				22
				済
				済

緑町宅地分譲状況

換及び連携を図るとともに、森林・林業・林産業の施策の充実、活性化促進の参考とする

場所 松前町
期間 8月10日
議員 全議員

●全道議会広報研修会

目的 議会、たよりの編集技術向上と読者普及発展に資するため、町村議会広報の事例発表と貢献を研修する

場所 札幌市
期間 8月23日
議員 松村松雄
上戸昌行
山田克哉
香川直樹

※コロナ禍によりどちらも中止となりました。

一般質問

聞いてみたい、こんなこと

新規就農対策は

上戸昌行議員

新規就農者に応じた育成と支援を充実させる

渋田町長



上戸議員

問

厚沢部町の基幹産業である「農業」において、生産農家の減少は、地域の衰退に繋がることから、新規就農への対応が喫緊の課題であると考えらる。

①農業生産人口減少への対応策は。

答

新規就農対策は、農業後継者の育成、新規就農者の確保、未来の経営体づくりとして重要な位置づけをしており、農業担い手育成対策協議会を主体として就農相談や農業研修、就農定着までのサポート

体制の構築を行ってきました。

①「農に生きるパート7」で掲げる「未来に向けた経営体づくり」をテーマに、就農サポート体制の構築や、GPSガイドダンスの導入などのスマート農業の推進に取り組みとともに、国の施策を活用しつつ、「安定生産」と「所得の確保」に向けた総合的に持続可能な厚沢部農業の発展に取り組んでいます。

②馬鈴薯や豆類等の畑作農業の新規継承者は、残念ながらありませんが、短期研修・長期研修を通じて、畑作経営に対するイメージを持ってもらうとともに、師匠となる農業者からの指導を通じて、移譲者や地域との合意形成を図りつつ、新規継承に繋がりたいと考えています。

③地域おこし協力隊制度の活用や、就農奨励金、起業支援金等により、研修時・就農時合わせて最大2,500万円の支援をおこなっています。

また、農業経営を開始する際の必要な資金については、長期無利子の制度資金等の各種支援策を最大限活用しつつ就農者への支援を図っていきます。

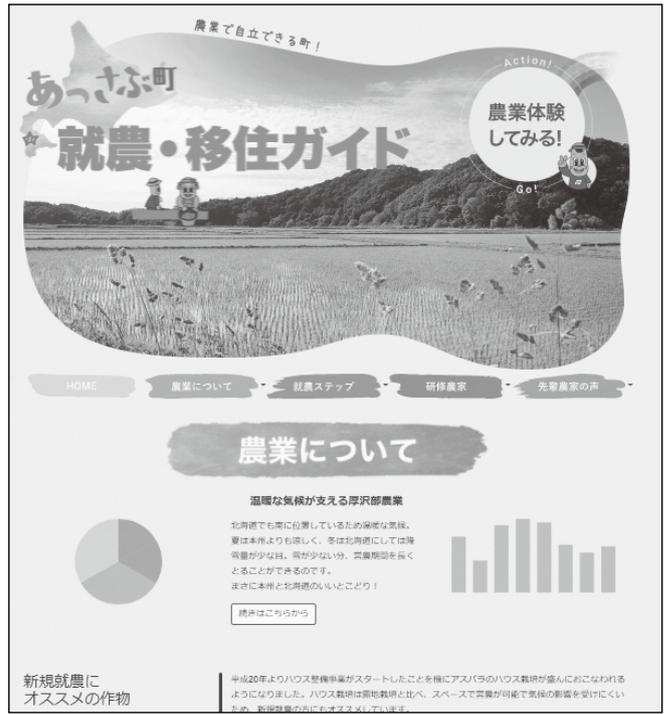
問 本町の基幹産業である農業の盛衰は、地域経済・行財政



山崎議員

質問1
農業のリスク対応と農業経営のセーフティネット（安全網）の確立は
国の制度を活用しながら引き続き農業者の安定経営に努める
 山崎 孝議員
 洪田町長

にも大きな影響を及ぼし、また、農業経営の安定は、地域経済発展のためにも重要な課題である。本町農業のリスク対応と農業経営セーフティネット確立について町長の所見は。



厚沢部町農業担い手育成対策協議会ホームページで新規就農を呼びかけ

答 現在農業関連の補償制度としては、農業共済制度の中で野菜価格安定制度、収入保険制度、収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）があります。本町では全道に先駆け、農業生産安定化特別対策事業として今年度も農業共済掛金・収入保険料の一部助成を行っています。また、収入保険制度は、青色申告の実績が必要となりますが農業経営全体をカバーする制度として創設されており、収入の確保やつなぎ融資を含めて総合的に対応可能な保険で、農業者の収入確保を支援するものです。こうした国費による収入減少を補填する収入保険制度に農業経営セーフティネットとしての加入が必要と考えています。さらに町では多面的機能支払交付金や、産地生産基盤パワープアップ事業、畑作構造転換事業等で農業者の収入確保を支援しており、このような制度を利用しながら引き続き農業者の安定経営に努めていきます。

質問2
新型コロナウイルス ワクチン接種状況と今後の見通しは

問 現在の接種状況と今後の見通しについて町長の所見は。

早期のワクチン接種体制を整備

答

ワクチン接種は、医療従事者や施設入所者、高齢者施設従事者を対象に始まり、5月末では、609人の接種が完了し、6月16日現在、75歳以上の約90%が、7月中旬には65歳以上の希望者全てが2回目の接種を完了する予定となっています。それ以降は年齢ごとに接種を進め、希望する全町民の接種終了は、9月上旬を予定しています。今後の接種予定や注意事項、接種状況については、広報誌やホームページに掲載し情報発信をしていきます。当町のワクチンは、十分に確保されており、希望する全ての町民への接種時期も目途

議会のホームページをご覧ください！

議会の日程や会議録等の議会情報をお知らせしています。

厚沢部町のホームページから移動するか、「厚沢部町議会」で検索してください。

厚沢部町ホームページアドレス <https://www.town.assabu.lg.jp> → 「厚沢部町議会」へ！！

が立っていますので、安心して接種に臨んでいただきたいと思います。



佐々木議員

質 問

災害対応への防災体制増強は
更なる防災意識の向上に努める

佐々木宏議員

渋田町長

問

住民の生命・財産を守る防
災・減災への取り組みについ
て、町長の所見は。

①「自らの命は自ら守る」と

【接種スケジュール】

対象者	接種券発送時期	予約開始時期	接種開始予定
高齢者（75歳以上）	済	済	済
高齢者（65歳以上）	6月10日	6月14日	6月21日
基礎疾患のある方 及び 60～64歳	6月24日	6月28日	7月5日
50～59歳 及び 12～18歳	7月15日	7月19日	8月上旬頃
19～49歳	7月29日	8月2日	8月上旬頃

※接種の状況により、前後することもあります。ご了承ください。

※12～18歳の方は夏休み期間中に2回の接種が完了するよう、スケジュールを組んでいます。
7月28・29日（1回目接種）、8月18・19日（2回目接種）は、12～18歳を優先とした
枠となっています。

ワクチン接種スケジュール

② 自主防災組織の防災訓練の実態は。

③ 消防署・消防団との連携は。
④ コロナ禍での避難所開設の対応は。

⑤ 指定避難場所の大雨等での二次避難対策は。

⑥ 災害協定の企業や団体は。

⑦ 戸別受信機の世帯ごとの設置の有無は。

答

① 町民に「人命が最優先」という意識をもってもらうため、各関係機関との出前講演会の実施や、地区単位の防災研修会の実施等、更なる防災意識の向上に努めて行きたいと思
います。

② 各町内会が自主防災組織となっており町内には21の防災組織があります。コロナ禍が収束後、多くの自主防災組織が訓練されるよう呼びかけたいと思います。

③ 消防署・消防団は災害対策本部の救急対策班に位置付けられています。町内に災害が発生し、または発生する恐れがある場合、町と一体となりながら対応にあたっていくま

す。

④ 災害等で避難所に移動される方の健康状態の把握に努め、発熱等で感染が疑われる場合は、居住スペースのゾーニングや、三密の回避、換気、マスク着用、手指消毒を徹底し、感染の予防を図ります。
⑤ 今年3月に改訂したハザードマップでは、24時間の想定最大規模の降水量を想定していますが、指定する避難場所も浸水被災の可能性が予想されます。その場合は、高台や

より安全性が高い近隣施設へ移動してもらうことを検討します。

⑥ 現在、町内外17団体と飲料の提供や災害復旧についての防災協定を締結しています。
⑦ 災害時の住民への避難情報等の伝達は、エリアメールやアラートを活用した携帯電話へのメール送信、消防吹鳴装置及び広報車等で周知することとしています。戸別受信機の設置は考えていません。



令和3年3月に更新されたハザードマップ

委員会活動

町議会に設置されている総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会では、今年度の所管事務調査の内容を次のとおり決定し、7月から調査を開始しています。

総務文教常任委員会

・地域再生エネルギー活用の方今後の方向性（太陽光・水力・ガス）について

・道の駅整備計画予定の概要と管理方法及び周辺施設（親水公園等）との連携の方向性について

・町立公園の現状と遊具等を含めた維持管理状況について

・学校運営協議会（CS）、GIGAスクール構想、小中一貫教育の取り組みと不登校児童の現状について

・学校施設状況（雨漏り、WiFi設置・コロナ対策リモット環境・無線ルーター貸出し状況、洋式トイレ設置、送迎

バス管理状況等）について

・新防災ハザードマップを活用した災害時における住民避難の実践に向けた取り組みについて

産業厚生常任委員会

・農に生きる創生事業について

・地力増進対策事業について

・農業振興公社の運営状況について

・有害鳥獣対策について

・子ども発達支援センターの運営状況について

・介護保険事業の運営状況について

・滝野・稲見の農地整備について

・道の駅あつさぶの整備について

・新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種状況について

意見書を提出しました

第2回定例会で意見書3件を原案どおり可決し、関係省庁に提出しました。（内容省略）

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

●「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

提出先 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣府特命大臣（地方創生・規制改革）

●地方財政の充実・強化に関する意見書

提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生規制改革）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

まちの議会を傍聴してみませんか

町政はあなたのために

次の定例会は9月7日（火）からです。

手続きは、議会事務局備え付けの傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

臨時会

第3回臨時会

第3回臨時会が7月13日召集され、補正予算案ほか3件を審議し、原案どおり可決されました。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ2250万円を追加し、総額45億1521万5千円となりました。増額されたものは、プレミアム商品券発行事業費補助金等です。

国保会計

歳入歳出それぞれ38万8千円を追加し、総額5億7887万4千円となりました。増額されたものは、国保税還付金等です。

条例

●厚沢部町24時間トイレの設置及び管理に関する条例の制定

8月に利用が開始となる「道の駅新設トイレ」の設置及び管理に関する条例」を制定し、既存の「さわやかトイレ」の設置及び管理に関する条例」を廃止しました。

専決処分

●損害賠償

作業中に車両へ損傷を与えたことによる損害賠償の額を決定したことについて報告しました。

各会計補正予算額一覧表

区分	補正額	補正後の額
一般会計	2250万円	45億1521万5千円
国民健康保険 事業特別会計	38万8千円	5億7887万4千円

主な議会のうごき

(第2回臨時会後から第3回臨時会まで)

月日	主 要 事 項	
3/29	総務文教常任委員会 (議員控室) 委員、事務局出席	
	産業厚生常任委員会 (議長室) 委員、議長、事務局出席	
6/6	議員全体会 (議員控室) 議員、事務局出席	
4/8	議会広報編集特別委員会 (議員控室) 委員、事務局出席	
		22
5/7		
5/10	北海道新幹線期成会監査 (議長室) 議長出席	
5/17	檜山町村議会議長会定例会 (江差町) 議長、事務局長出席	
6/10	一般国道227号厚沢部町外新中山トンネル工事安全祈願祭 (木間内) 議長出席	
	議会運営委員会 (議員控室) 委員、正副議長、事務局出席	
	6/16	第2回町議会定例会招集 (議場) 議員、事務局出席
	6/17	第3回全員協議会 (第1会議室) 議員、事務局出席
7/2	総務文教常任委員会 (議員控室) 委員、事務局出席	
	産業厚生常任委員会 (議長室) 委員、議長、事務局出席	
7/5	議会広報編集特別委員会 (議員控室) 委員、事務局出席	
7/13	産業厚生常任委員会第1回所管事務調査 (議員控室) 委員、議長、事務局出席	
	議会運営委員会 (第1会議室) 委員、正副議長、事務局出席	
	第3回町議会臨時会招集 (議場) 議員、事務局出席	

編集後記

今年6月道南乙部町館浦地区で、大規模な崖崩れが発生しました。国道229号の鳥山側、館浦トンネルの手前でしたが、幸い被害に遭われた方がいなく大事には至りませんでした。復旧するまでに相当の時間を要するとお聞きしました。

また、7月3日に静岡県熱海市の伊豆山地区で10万平方メートルの土石流が崩落し130棟の民家を飲み込むという大変大きい災害が発生しました。これ

は、盛り土が崩落したとの報道もあり天災ではなく人災であれば大変大きな問題になると私は思いました。この原稿を書いている今も尚救助活動が続いている状況であり1日も早い救出を願う所です。

さて、当町におかれましては、この度広報あつさぶにも掲載されていきました景観形成活動として、各地域様々なアイデアを取り入れ自然環境の保全としての活動を実施しているのを拝見しました。館町町内会も地域コミュニティ事業の一環として、前老人クラブの会長との約束をはずすべく地域の方々の力を借り役員一同4か所の花植えを終え、只今水や草刈り等に奮闘している所でございます。

各地域が、自然環境の保全・地域の美化清掃活動を行うことにより、町民が主役となって進める素敵な過疎のまちづくりという面においても、行政が打ち出した第6次総合計画にも繋がって行くのではないかと思います。来年以降も推し進めて参りたいと思っております。

終わりになりますが、これより先当町におかれましては、災害のない1年になります様心よりお祈り申し上げます。

(かつや)

□議会広報編集特別委員会

- 委員長 松村 松雄
- 副委員長 上戸 昌行
- 委員 山田 克哉
- 委員 香川 直樹